

# 海外教育 メディアレポート

メディア・リテラシー

児童の安全なインターネット利用に関する連合王国  
評議会(UKCCIS)によるオンライン利用教育の取組(連合王国)

東京学芸大学名誉教授  
篠 原 文 陽 児

## 背景

児童の安全なインターネット利用に関する連合王国評議会 (United Kingdom Council for Child Internet Safety : UKCCIS) は、英国に在住する児童の安全なオンライン活用を支援する組織である。政府機関、産業界、法曹界、学術、チャリティ各界から200を超える団体が参加している。

本稿ではUKCCISの取組で開発された、児童および青少年の豊かなデジタルライフのための枠組「つながる世界のための教育」を取り上げる。この枠組は、児童のオンライン利用の安全性の確保と同時に、教師がオンラインの危険性を理解し日常の教育活動で活用する方略を開発する基本的な資料としても役立てられている。

## 枠組「つながる世界のための教育」の構成要素

教育の年齢段階を4つに設定(7歳まで、7歳から11歳、11歳から14歳、14歳から18歳)し、それぞれに8つの要素を配置している。つまり、(1)自分自身を見つめる、(2)オンラインでの交流、(3)オンラインでの世評と風評、(4)オンラ

インでのいじめ、(5)オンライン情報の管理、(6)健康、幸福、ライフスタイル、(7)プライバシーとセキュリティ、(8)著作権と所有権である。

## 構成要素の概要

- (1) 自分自身を見つめる  
自分への問いかけを軸に、メディアの性への関心と、思考や行動の型へのはめ方を探究する。  
表は、本要素の年齢段階と達成水準である。なお、他の7つにも、詳細な水準が設定されている。
- (2) オンラインでの交流  
技術によるコミュニケーションスタイルの形成方法を探究する。
- (3) オンラインでの世評と風評  
世評と風評の概念と、他者が判断を下すときのオンライン情報の使い方を探究する。
- (4) オンラインでのいじめ  
いじめや攻撃という課題に対する技術の影響と効果を探る。
- (5) オンライン情報の管理  
情報の探索方法と吟味、解釈について探究する。
- (6) 健康、幸福、ライフスタイル

技術が健康と幸福およびライフスタイルに有する影響力を探究する。

### (7) プライバシーとセキュリティ

個人のオンライン情報の保存、処理、共有、利用の各方法を探究する。

### (8) 著作権と所有権

オンラインの内容情報について、著作権と所有権の概念を探究する。

## まとめ

安全は、安心と対に表現されることで、今日の社会を取り巻くキーワードの一つである。我が国では、情報通信の分野に限れば、総務省による

ネットやソーシャルメディアの安全で安心な利用に関する実態調査がある。また、民間レベルの一例としては、本協会の、本誌あるいは映像教材や専門家の派遣などを通じた積極的な啓発等活動がある。

本稿で紹介した取組は、年齢段階に応じた達成水準を詳細なまでに規定している。豊かで幸福感ある国と国民の発展として、誤解が決して許されない取組だからこそである。

世界の動向を見据えた官民あがりの有機的なつながりと協働。我が国のメディア教育の今後の展開に期待されることは大きい。

表・年齢段階とそれぞれに対応する達成水準 (構成要素1「自分自身を見つめる」)

年齢段階	達成水準			
1 7歳まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、いいえとか、やめてとか、あるいは、何かをして私を悲しませたり当惑させたり動転させたりする人がオンライン上に存在すると、認めることができる。</li> <li>私は、このことを、現実の生活とオンラインを問わず、説明できるように話すか、例示できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、私を悲しませたり当惑させたり動転させたりする人がオンライン上に存在すると、認めることができる。</li> <li>私は、私を悲しませたり心配させたりする何かが起こったとき、私が信頼する大人について、どのように話すか、例示できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上の他者が現実生活の他者とどんなに違いがあるか、説明できる。</li> <li>私は、オンライン上で違って見せるいくつかの方法を記述できる。</li> <li>私は、私を悲しませたり当惑させたりなどオンラインの課題例を示すことができる。</li> <li>私は、助けを求める方法例を示すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上の他者が現実生活の他者とどんなに違いがあるか、説明できる。</li> <li>私は、オンライン上で違って見せるいくつかの方法を記述できる。</li> <li>私は、私を悲しませたり当惑させたりなどオンラインの課題例を示すことができる。</li> <li>私は、助けを求める方法例を示すことができる。</li> </ul>
2 7歳から11歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、同一であることの意味を説明できる。</li> <li>私は、オンライン上で自分を表現するいくつかの異なる方法を説明できる。</li> <li>私は、オンラインですることごとに何故自分を変えるか、説明できる。</li> <li>たとえば、ゲームをしているとき、アバターの使用中、ソーシャルメディアを使っているとき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上の自分が実生活での自分とどのように異なるか、説明できる。</li> <li>これを知ることによって、私は、他者との交わり方と他者が私に気づく方法について、正しい決定を記述できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上の自分の情報のコピーや修正あるいは改造のされ方を説明できる。</li> <li>私は、文脈にしたがって、オンライン上で自分の責任ある選択をして見せることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、メディアが性に関する考えを形成する方法を記述できる。</li> <li>私は、性の役割に関する情報を特定することができる。</li> <li>私は、性に関するオンライン上の不適切な情報を排除することが何故重要か、明確に説明できる。</li> <li>私は、私や他者を悲しませたり心配させたりするなどのオンライン上の課題を記述できる。</li> <li>私は、オンラインとオフラインの両者で、助けをもらう方法例を知っている方法例を示すことができる。</li> <li>私は、必要な助けを得るまで問いかけ続けるべき理由を説明できる。</li> </ul>
3 11歳から14歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、インターネットとソーシャルメディアが明確な自己促進に使われる方法例を示すことができる。</li> <li>私は、人がオンライン上の自分を収集し実験を試みる方法と、何故彼らが使用するのかを説明できる。</li> <li>私は、オンライン上の個人的な活動や履歴または人物紹介が、検索やソーシャルメディアで自分に返ってくる情報の型に影響を与え、私の信念と活動および選択にも影響を及ぼすようになることに気づいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、デジタルメディアの生活上の役割を考慮評価できる。</li> <li>また、私のライフスタイルのどこに利点をもたらすかの事例を示すことができる。</li> <li>私は、オンライン上の異なる場所で自分を表現することが、いかに利益と危険をもたらすか、説明でき、それらが何であるか記述し評価できる。</li> <li>私は、潜在的な危険性を軽減する方略を説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上のイメージが型にはまった思考や行動を強化するためにいかに役立つか、説明できる。</li> <li>私は、人がソーシャルメディアを使っているときに感じるプレッシャーのいくつかを記述することができる。</li> <li>私は、個人のイメージは写真を変更することに等しいことを説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上のイメージが型にはまった思考や行動を強化するためにいかに役立つか、説明できる。</li> <li>私は、人がソーシャルメディアを使っているときに感じるプレッシャーのいくつかを記述することができる。</li> <li>私は、個人のイメージは写真を変更することに等しいことを説明できる。</li> </ul>
4 14歳から18歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンラインの内容が人の行動にどんな影響を与えるか説明できる。</li> <li>私は、オンラインの内容が、人の行動とその人全体のイメージ形成への影響の与え方を説明できる。</li> <li>私は、行動に影響を与えるに違いないメディア例を示すことができる。</li> <li>私は、人工知能(AI)が何を意味するか、説明できる。</li> <li>私は、AIが職業選択を含めた私の今と未来の生活に、どのように影響を与えるか、評価できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、インターネットとソーシャルメディアを私の仕事の今後を含め明確な自己促進に使う方法を、具体的に示すことができる。</li> <li>私は、オンラインでの私の表現方法と、性や文化あるいは社会的な集団による相違に、それぞれ影響を与える社会的規範と期待を認識し評価し、必要であれば、果敢に挑むことができる。</li> <li>私は、オンライン上の私自身に関する否定的な意見や期待に、適切に挑む方法を知っている。</li> <li>私は、否定的な意見を排除すべき場など、適切な場所場所で、他者が他者であることに明らかな貢献をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、オンライン上の性的な内容を決定する法律を記述することができる。</li> <li>私は、オンラインの性的な内容を見ることによって生じる期待と行動の関係性の影響の受け方を記述し、批判的に評価することができる。</li> <li>私は、明確な独自性を管理するオンライン上の複数の役割モデルを特定することができる。</li> <li>私は、私自身の理解を裏付ける私個人の研究や経験をもとに例を示すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私は、デジタル操作によって創造につながる利益と倫理的な欠点を記述し評価できる。</li> <li>私は、デジタルな方法で編集した個人的なイメージを評価する時、目的と内容の重要性を説明し査定することができる。</li> </ul>